



かみかわ町

議会だより

No. **67**

令和4年
9月1日発行

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

令和4年

6月

定例会

7名の議員が一般質問を行う..... P.3

6月定例会審議結果..... P.10

議会活動報告..... P.12



12 ページに
写真の説明があるよ

表紙シリーズ

町内の風景写真

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

議会の傍聴について

第3回定例会は9月

6 日(火) [午前9時～ 一般質問等] から

16 日(金) [午前9時～ 質疑・討論・採決等]
を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

6月定例会を開催

令和4年第2回神川町議会定例会は、6月7日から14日までの8日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、櫻澤 晃町長から提案された令和4年度補正予算3件をはじめ、条例改正2件、契約等5件の計10件の案件及び陳情1件が審議され、原案どおり可決・承認・採択されました。（議案一覧及び審議結果は10ページをご覧ください。）

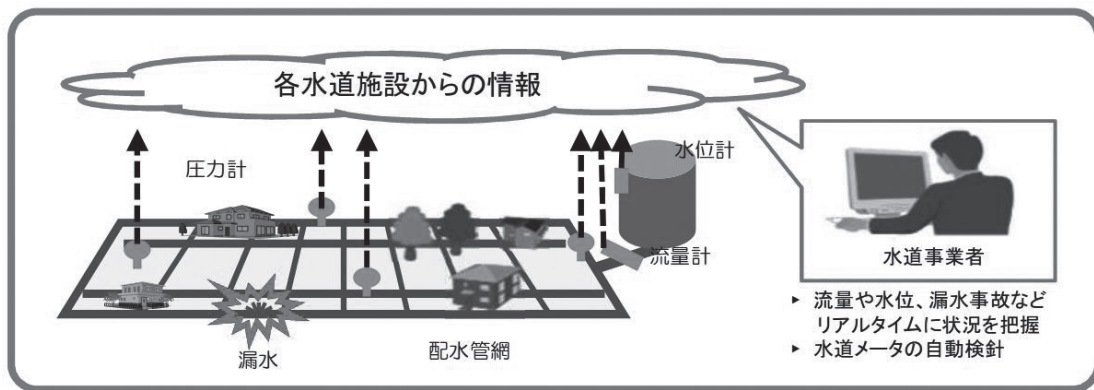
また、一般質問は6月7日に行われ、7名の議員が、町長をはじめ町当局の考えについて、質問しました。

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	掲載頁
柴崎 愛子	1. スマートメーターの導入について	1 遠隔での水道検針及び漏水の早期発見について 2 各課連携しての高齢者見守り対策について	3
川浦 雅子	1. 高齢化に対応した施策について 2. 支援制度周知について 3. 更年期障害について	1 ここで暮らし続けられるためについて 1 いち早く申請、支援に繋げるためについて 1 理解とサポートについて	4
新井 太一	1. 川の国埼玉はつらつプロジェクトについて 2. 新宿ふれあい公園の整備について	1 事業の進捗状況について 2 今後の施設利用について 1 人が集う魅力ある公園整備について 2 今後の施設利用について	5
四方田繁男	1. 空き家対策について	1 適切に管理されていない空き家対策について 2 危険性の高い空き家対策について	6
坂本 貴佳	1. 町の防災対策について	1 幼児・児童の避難計画及び避難訓練について 2 避難所の設置条件について 3 高齢者施設への危険回避策について	7
赤羽奈保子	1. がん患者の支援について	1 医療用ウィッグ（かつら）の助成について 2 男性用トイレにサンタリーボックスの設置について	8
野口 弘吉	1. 町内の小学校について	1 児童数の減少に伴う、今後の町内小学校のあり方について	9

※一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

※6月定例会の一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。
また、町ホームページでも9月上旬から閲覧出来ます。





出典：厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000756521.pdf>)

柴崎愛子議員

スマートメーターの導入

◆遠隔で水道検針

1市3町の水道の漏水件数を調べ、比率を見ると、神川町が最も高いです。これは、町の損失であり、水道メーター器内側の宅内であれば契約者である個人、または、法人の損失にもなります。

しかし、スマートメーターを導入した場合は、直ぐに漏水が分かるシステムになっています。東京都は、2022年度から3年間で13万の企業や家庭に設置する方針で、2030年代までには780万ある都内の全契約先への導入拡大も計画しています。

さらに、高齢者等見守り機能を連動した専用アプリも制作中との報道です。アプリに登録すると、離れて暮らしている家族

に「使い始め、不使用、連続使用など」の水道利用状況を、メール配信する仕組みです。

365日24時間、地域での見守り活動は難しいと考えています。

本来スマートメーターの導入は、上下水道課で、高齢者の見守りは、町民福祉課や保険健康課ですが、神川町として各課連携し、水道スマートメーターの導入を検討する考えがあるか伺います。

答え 町長

「スケールメリットにより価格低下の場合導入余地があるが、現時点での導入は難しい」

スマートメーター取扱いメーカー及び実証実験中の事業体へ聞き取りしたところ、運用には、「携帯電話の電波が安定した状態が前提であり、設置も始まったばかりで効果の検証まで至っていない現状である。」とのことでした。

設置した場合の試算では現在の経費より年額で1・5倍ほど

の費用が掛かります。

今後、東京都など大都市で導入が予定されているため、スケールメリットにより価格が大幅に下がった場合には導入の余地もあると思いますが、現時点での導入は難しいと考えます。

また、各課連携しての高齢者見守り対策は、スマートメーターが安定して稼働することを前提にしており、安否確認など見守りの助けとなる信頼性を担保できるか、確実ではありません。

さらに、災害時に通信の中継点となる携帯電話の基地局が停電した場合、スマートメーターを設置した各家庭の水道の使用状況も不明となるなどの理由により、スマートメーターを見守りの手段として使用することは考えていません。



一般質問



川浦雅子議員

高齢化に対応した施策

◆住民の不安に寄り添って

町の出生率の減少をうけて、住民から相談がありました。

「この先、高齢者ばかりの地域が出てくると思う。運転免許返納後や、地域コミュニティの維持、防災でも不安を感じる。自宅で出来ることを維持し続けたいが、町に計画を聞いてほしい。」という内容でした。

高齢化に向けた取り組みを伺います。

答え 町長

「様々な課題に

取り組むことが重要」

現在、町では、65歳以上の高齢者の方にはタクシー利用券を配付することで、日常生活で必要な外出支援を行っています。

健康維持では、特定健康診査等の各種検診や体操教室等のフレイル対策事業も行っています。

また、生涯学習講座・サークル活動への支援等も実施しています。

町の高齢化率は年々増加していますので、様々な課題に取り組んでいくことが重要と考えています。

支援制度周知



◆必要な人に届くように

国や町による支援制度には、暮らしに役立つものが多くあります。

しかし、行政とのかかわり方が分からない人、生活が苦しくても自己責任だと思っている人、また、政治のことを考える余裕さえない人もいます。

必要な人に適切な支援制度の

周知、また、町の奨学資金貸付制度の周知に力を入れる考えはあるか伺います。

答え 町長

「必要な情報を

周知することが重要」

必要な時に必要な制度を利用することが重要と考えていますので、広報紙やホームページ・ライン等、周知徹底に努めています。利用対象者が絞られている制度では、町から通知しています。

答え 教育長

「就学が困難な方への

制度周知に努めます」

経済的な理由により、大学等への就学が困難な方に向けて、町の奨学資金貸付制度を、毎年「広報かみかわ」の6月号に掲載し、ホームページには、常時、情報を公開しています。

更年期障害

◆理解を広める取組を

厚生労働省は、今年度から更年期に生じる症状が、日常生活や仕事に与える影響について、実態調査を行います。

女性には閉経前後に症状が現れ、また、男性は30歳以降、誰にでも起こる可能性があります。症状が重い場合、理解が得られず、辛い経験をしている方も多いので、更年期障害に対して理解を広める町の取組について、考えを伺います。

答え 町長

「更年期障害の

周知啓発を強化します」

更年期障害は、当事者を含め周囲も判断しづらい症状のため、理解と周知が欠かせません。

町では、保健センターへの相談案内の周知を図り、不安を抱える方に寄り添った支援に努めます。



新井 太一 議員

川の国埼玉 はつらつプロジェクト

◆遊歩道の完成を

町の第2次総合計画では、水辺資源活用施設の充実を図ることとして、神流川水辺公園から秩父瀬神流パークまでの約1キロメートルの区間を対象に、埼玉県と神川町の共同整備事業、



当初の遊歩道計画箇所（渡瀬の水辺公園側から撮影）

川の国埼玉はつらつプロジェクトがあります。この事業は、釣りや水遊びなど安全に水と親しむことができる空間づくりと、周辺の整備によるにぎわい創出を目的に町が提案し、県に採択された事業になります。県が担当した工事は既に完了と聞いていますが、この事業が当初計画のとおり実施できていますか。また、整備完了後の施設の利活用の方針について、町の考えを伺います。

答え 町長

「今後の活用を 協議します」

県の事業は、秩父瀬神流パークから水辺公園までをつなげる遊歩道の整備と、水辺公園のせせらぎ水路の改修を予定していました。

しかし、遊歩道は落石の危険

性が確認されたため、平成30年8月の協議会で協議し、計画の一部変更が承認され取りやめとなりました。

今年度にハード事業が完了することから、関係者と調整を図りながら、今後の活用を協議していきます。

新宿ふれあい公園の整備

◆人が集う 魅力ある公園整備を

町の都市公園の一つでもある新宿ふれあい公園には、長期にわたり進入禁止の箇所が継続され、利用できない施設がありますが、なぜ現在も閉鎖されたままなのか、また、今後開放する予定はありますか。

長期間、公園の改修や新たな整備が実施されていませんが、新宿ふれあい公園に足を運びたくなり、遊びに来られた方が集える魅力ある公園に向け、安全性や快適性を兼ねそろえた整備が必要と思いますが、今後の整備計画について町の考えを伺います。

答え 町長

「安全性や快適性に配慮 した整備を検討します」

新宿ふれあい公園は、旧清掃センターの跡地を利用して整備されたものです。

今後は、安全対策を講じた上で開放に向けて調整していくとともに、今年度実施の公園施設長寿命化修繕計画を基本とし、安全性や快適性に配慮した整備を検討します。



活用が待たれる新宿公園内の施設



四方田 繁男 議員

空き家対策

◆空き家対策を推進するために

町内も空き家が増加している状況が見られます。なかでも適正に管理されていない空き家は草木の繁茂や野生動物の住処、ごみの投棄や放火の心配などにより、衛生面・防犯、様々な形で地域環境の悪化に繋がると考えられていることから、空き家について早急に対応する必要がありますと考えます。他の自治体では空き家対策法に基づく空き家の対策を推進するため、協議会の設置や計画の策定を実施していますが、まちは、今後どのような方針で行くのか町長の考えを伺います。

また、神川町老朽空き家除去補助金制度があり、解体に要した費用3分の1、30万円を上限とした補助になっています。平均的な木造家屋30〜40坪程度のものを解体する場合の費用は、200万円程度となります。

費用総額に対して補助金額が少ないことも解体除去が進まない要因の一つだと考えます。老朽空き家除去補助金の上限額を引き上げるとともに、行政指導の一層強化など、危険な空き家の早急な解体除去の推進が必要であると思いますが、町長の考えを伺います。

答え 町長

「計画の策定や補助金を研究します」

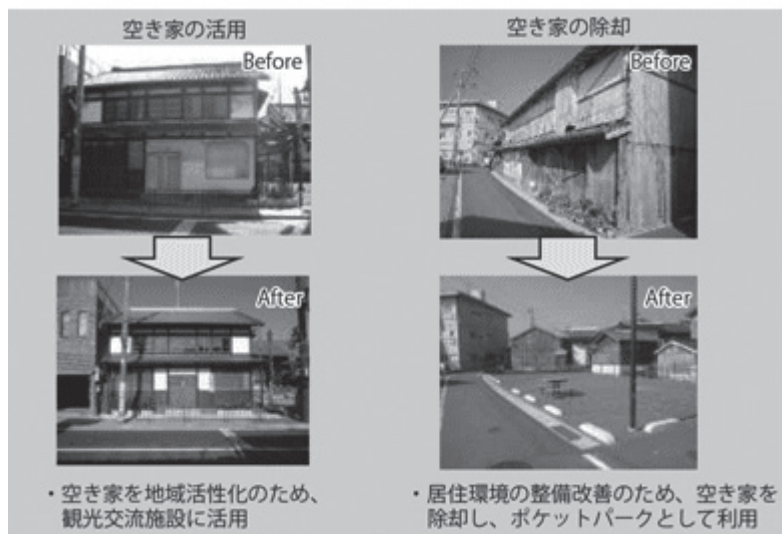
空き家の現状は130軒を確認し、保安上の危険や衛生上有害となるおそれのある特定空き家は8軒、敷地等の管理がされていない管理不全が18軒、残りの104軒の敷地等は管理されています。

空き家等対策計画は、空き家対策特措法の手続や空き家の活用、流通促進、適正管理など、基本的な内容を計画にするもので、空き家解消につながるのか、研究します。管理されていない空き家の所有者には、引き続き所有権に基づく管理責任を果たしてもらえよう通知等で指導していきます。

また、補助金の上限額引上げにより、危険性の高い空き家

解体除去の促進効果は、少なからず期待できますが、空き家は個人の財産であり、所有者の責任により管理し解体除去されるべきものと考えます。そのため、一概に補助金額の引上げをもって解体除去を促進することは慎重に判断しなければならぬと考えており、引き続き近隣市町の状況も踏まえ研究していきます。

図表 I-1-2-16 空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づく支援例



(資料) 国土交通省

出典：国土交通省ウェブサイト

(<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r01/hakusho/r02/html/n1122000.html>)



令和元年の台風 19 号により水没する水辺公園（渡瀬地内）

また、高齢者施設 2 か所が浸水予想地域内です。高齢入居者の避難は、個人では難しく地域住民の協力が必須と考えますが、高齢者施設への対応について、町の考えを伺います。

また、高齢者施設 2 か所が浸水予想地域内です。高齢入居者の避難は、個人では難しく地域住民の協力が必須と考えますが、高齢者施設への対応について、町の考えを伺います。

毎戸配布された神川町防災ガイドマップで確認したところ、町内の幼保施設は浸水想定地域外でしたが、学校関係では渡瀬小学校が 0・5 m から 3 m の浸

◆避難訓練の現状を問う

町の防災対策



坂本貴佳議員

水想定地域内にあります。児童福祉法等では避難訓練の実施を定めていますが、地域住民、保護者との協力を含めた、避難訓練計画の現状を伺います。

なお、渡瀬小学校は、地域事情があると思いますが、避難所兼避難場所には不適です。これらの避難場所等の移転検討を含め、浸水発生時の住民避難誘導計画等の対応及び周知の現状を伺います。

答え 町長

「訓練継続が有効 施設と地域の連携も不可欠」

町内幼保施設は浸水想定区域外のため、水防法に基づく避難確保計画を策定する必要はありませんが、いざというときに備え、避難訓練を継続し、訓練の課題を生かしていく事が有効性に繋がると考えています。学校等には教育委員会から同様に指示し、児童の安全確保を図ります。

避難所は施設の規模などから、学校等の公共施設を指定しています。

浸水被害の想定時には、防災行政無線等で、該当地域へ連絡し、他避難所への避難を周知します。

なお、想定区域外への避難所の設置整備は難しいため、安全が確保できる避難所へ避難していただきます。

また、高齢者介護施設には、各省のガイドライン等を基に指導し、防災対策補助制度も周知

しています。改善点に対しては改善報告書を求め、評価、指導に努めています。

さらに、施設の運営推進会議に地元区長や民生委員の参加を呼びかけるとともに、施設には地域イベントへの参加を案内しています。

より実効性のある防災対策をはじめ、安定的な高齢者介護施設運営の実現に向け、今後も関わりを強化します。



立ち退き避難（小中学校・公民館） 出典 内閣府ホームページ (https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/)



赤羽 奈保子 議員

がん患者の支援

◆がん患者の
社会復帰の支援を

がんと闘うのは、精神的、経済的にも負担が大きいです。がん治療を行う上で、抗がん剤の副作用により、ほとんどのの方が影響を受けているのが「脱毛」です。

医療用ウィッグは、抗がん剤治療中の方が仕事や通院など日常生活に必要と思うのですが、医療費控除や健康保険では、いまだに適用外になっています。医療用ウィッグは美容用とは違って、毛量の増減に対応できたり、通気性のよい素材を使用したり、外見に対する精神的負担の軽減ができる自然さなどが求められ、かなりの高額になっています。

購入を支援することで、がんと闘われている方の社会復帰の

後押しになると考えますが、町の見解を伺います。

また、男子トイレにサニタリーボックスの設置について、伺います。私もそれまでは、女性トイレに当たり前のようにあるサニタリーボックスが男性トイレにはないということを考えたこともありませんでした。

前立腺がん摘出手術を受けた方の大半は、術後しばらくは尿意のコントロールが難しく、おむつやパッドが必要だそうです。そのほか、膀胱の手術やその他の疾患、また加齢による尿漏れなど、パッドが必要な男性は少なくありません。また、LGBTQの方が男性トイレを使用する場合もあります。

尿漏れパッドやおむつを使用している方は増えていきます。男性用のパッドのテレビのコマーシャルを見ることが増えてきました。神川町の公共施設の男性

トイレにも、サニタリーボックスを設置していただきたいと考えますが、町の見解を伺います。

答え 町長

「県内市町村の動向を
踏まえ、検討します」

がんの治療を受けながら、仕事や家事を行う人も増えており、外見が変わることでの社会の関わりに消極的になる人も散見されます。

このような中、がん患者の方の身体的、精神的な負担や社会生活上の不安を和らげる目的で、医療用ウィッグの助成を実施している市町村も見受けられ、埼玉県内では川口市、行田市、美里町が助成しています。町とし

ては、県内他市町村の動向を踏まえ、検討していきます。

前立腺がんや膀胱がんの男性は、治療後も一部の方は頻繁に尿漏れパッドが必要になることもあり、外出先で捨てる場所がなく、持ち帰らざるを得ないという声もあります。

町内公共施設では、多機能トイレに設置されている場所もありますが、男性用トイレにはサニタリーボックスは設置されていません。

病気を抱えながらも、社会生活を安心して過ごし積極的に外出できるよう、施設の状況に応じ種類や設置場所を検討いたします。



町内の小学校

◆小学校の適正配置

現在町では、丹荘、青柳、渡瀬、神泉の4小学校で568人の児童が日々心や体、学ぶ力の向上を目指して学校生活に取り組んでいます。また、ICT環境整備にも力を注いでおり、一人一台のタブレット端末を配布



野口弘吉議員

し学習環境の整備にも努めているところですが、そのような状況の中、学習環境は大きく向上しています。

しかし、少子化に伴い、児童数の減少への対策も重要であると考えており、町の方針を決めなければならぬと感じています。子ども同士が切磋琢磨し、成長していくという機会が減少することが懸念されており、大きな教育課題にもなっています。

このような状況を踏まえ、神川町立小学校適正規模等検討委員会が設置され、小学校の適正規模や適正配置についての答申がなされています。

子どもたちや保護者にとって不安な部分もあると思いますが、統合を進めるべきと考えます。今後の小学校の在り方について、町の考えをお聞きます。



渡瀬小学校ホームページより転載

答え 教育長

「町として

小学校の在り方の

検討を進めます」

令和2年度に神川町立小学校適正規模等検討委員会が設置され、8回の会議が行われ、令和3年3月に検討委員会から教育委員会へ答申されています。答申では、「将来は小学校を1校とするが当面は2校とする」というものと、「4つの小学校を残す」という2つの案が提言されています。



青柳小学校ホームページより転載

「将来は小学校を1校とするが当面は2校とする」の答申の主な理由は、「学校が統合されて児童数が増えることで、多様な考え方や意見に触れることができ、学習指導要領の狙いに合った授業を展開することができ。また、お互いが切磋琢磨し子どもたちの一層の成長が期待できる。将来は1校が望ましいと言えるが、現状の施設を活用して早急に複式学級を解消するためには、まず2校とすることが適切」というものでした。

また、「4つの小学校を残す」という答申の理由は、「教職員の目が行き届き手厚い指導ができる。小学校は、コミュニティの核として災害時の避難所や地域振興にも重要施設となっている等」というものです。

町としても、今後の小学校の在り方を検討するため、5月24日に教育委員会と町長部局の合同会議である総合教育会議を開催し、答申を再確認し、今年度から検討を進めることを決定いたしました。

6月定例会議案一覧及び審議結果「予算」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和4年度神川町一般会計補正予算（第1号） 原油価格・物価高騰対策や新型コロナウイルス感染症ワクチン4回目接種事業など。歳入歳出に1億2,116万8千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各61億6,916万8千円とする。*11ページ写真①	○
	令和4年度神川町観光事業特別会計補正予算（第1号） 予算の総額を歳入歳出それぞれ2,634万2千円とする。	○
	令和4年度神川町水道事業会計補正予算（第1号） 第3条予算の水道事業収益を3億1,399万6千円、水道事業費用を2億8,001万2千円と定め、第4条予算の資本的支出を1億9,447万5千円とする。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

6月定例会議案一覧及び審議結果「条例・契約・陳情等」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	神川町こども医療費支給に関する条例及び神川町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例 現物給付の対象となる医療機関等を拡充するため、所要の改正を行う。	○
	神川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 消防団員の出動報酬の支給額について、所要の改正を行う。	○
	工事請負契約の締結について 新神泉総合支所建設工事の契約。*11ページイメージ①	○
	物品購入契約の締結について 神川町消防団第1分団消防ポンプ車両購入の契約。*11ページ写真②	○
	専決処分の承認を求めることについて 神川町税条例等の一部改正を行う。	○
	専決処分の承認を求めることについて 神川町国民健康保険税条例の一部改正を行う。	○
	令和3年度神川町一般会計繰越明許費繰越計算書について 全9事業の予算総額5,286万5千円を翌年度に繰り越すもの。	報告のみ
陳情	住宅間の道路の修繕及び舗装について 総務経済常任委員会では、「全会一致」により採択され、本会議でも採択になりました。12ページをご覧ください。	採 択

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

議会豆知識



議会の役割とは？

神川町議会は、町民の代表者12名によって構成され、私たちの神川町をより明るく住みよいまちにするため、皆さんの負託により、重要な町政運営の方針を決める役割をもっています。

議会は議決機関と呼ばれ、議会の議決をもとに執行機関の町長が実際の仕事を進めていきます。両者は独立した機関として対等の立場にあり、互いに協力して町政の発展のために活動しています。

議 会 日 誌

*本誌は、主に議長出席の行事を掲載しています

4月

- 1日 全員協議会
- 5日 埼玉県町村議会議長会役員会
- 7日 春の交通安全運動キャンペーン
- 8日 第1回区長会
- 12日 更生保護女性会総会
- 21日 人権擁護委員協議会総会
- 22日 議会だより編集部会
- 26日 臨時議会運営委員会
- 28日 全員協議会

5月

- 14日 神川町商工会青年部通常総会
- 18日 神川町観光協会総会
- 19日 児玉郡町議会議長会総会
神川町商工会通常総会
- 21日 文化協会総会
- 25日 社会福祉協議会理事会
- 26日 議会運営委員会

6月

- 1日 全員協議会
暴力排除推進協議会監査
議会だより編集部会
- 7日 第2回定例会（一般質問、条例、
補正予算等説明）
- 9日 文教厚生常任委員会協議会
- 10日 総務経済常任委員会
- 14日 第2回定例会（条例、補正予算等
質疑・討論・採決）
- 21日 神川町戦没者追悼式
- 23日 シルバー人材センター定時総会

*写真①：4回目ワクチン接種会場



*イメージ①：新神泉総合支所イメージ



*写真②：消防団ポンプ車両（参考写真）



「こんにちは」県議会です！



テレビ埼玉 9月4日（日曜日）、11日（日曜日）
午前10:00～10:15

常任委員会委員長インタビューを放送します。

すてきな賞品の当たるプレゼントコーナーもあります。

※詳しい放送スケジュールは、埼玉県議会ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/index.html>

議 会 活 動 報 告

総務経済常任委員会 陳情を慎重審査

6月10日（金）、総務経済常任委員会を開催し、執行部から建設課職員の出席を求め、現地では、陳情者立ち会いのもと、新宿峰岸地区の「住宅間の道路の修繕及び舗装について」慎重に審査いたしました。

陳情者より「道幅が狭く、雨が降ると水溜まりができ、通行に支障をきたしている。」との説明がありました。執行部からは「町全体の道路整備の優先順位を考えながら検討したい。」との説明がありました。

討論では、反対は無く、「採択すべきもの」と決定しました。



文教厚生常任委員会 学校訪問

6月9日（木）、教育委員会及び町内すべての小学校の協力を得て、コロナ禍での小学校におけるタブレットの使用状況を見学しました。

児童は上手にタブレットを使用していたので、今後の利用方法を見守っていきたいと感じました。また、トイレを家庭環境と同様の洋式に更新した状況も確認しました。

神泉小学校・丹荘小学校では、芝生の生育状況及び管理体制を確認し、ボランティアに頼る状況を聞き、今後の管理継続の検討を認識しました。

写真タイトル： 早朝のひととき

撮影 フォーカス友の会 小笠原 智宏さん

撮影場所：大字新里地内

撮影日：平成28年9月27日

撮影者：彼岸花の撮影に出かけると、用水路の魚ひとこと
を狙ってダイサギが佇んでいました。



スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと

「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。



【 12月定例会は、12月6日（火）から開催予定です。 】

